



第 39 回東京税関成田地区密輸出入取締対策協議会 成田国際空港密輸概況【平成 30 年 1 月～10 月】

【最近の密輸情勢等】

◎ 覚醒剤密輸の動向

成田税関支署において摘発した覚醒剤密輸入事件は、30 件、押収量は、約 40 キログラムであり、前年同期比で件数は前年並みであったが押収量は減少した。

覚醒剤の仕出地は、メキシコ、マレーシアからの航空機旅客による密輸が目立っているもののアジア、中東、ヨーロッパからの密輸も見受けられ広範囲に及んでいた。

隠匿手口としては、スーツケースへの隠匿工作が過半数を占めているが、その他の手口としては、嚥下等による体内隠匿が目立った。

◎ その他の薬物密輸の動向

【麻薬】

麻薬密輸入事件は、摘発件数 10 件、押収量約 11 キログラムであり、前年同期比で件数、押収量とも増加し、その中でもコカインは、6 件、押収量約 9 キロであり、麻薬事犯全体の大部分を占めており、大幅に増加した。

コカインの特異な手口は、航空機旅客がタオルに浸み込ませるなど巧妙な隠匿があった。

【大麻】

大麻密輸入事件は、摘発件数、押収量とも前年同期比では前年並みであった。

◎ 金地金等密輸への対応

社会問題化している金地金等の密輸に関しては、本年、航空機旅客数名による金地金 66 キログラムの密輸入事件を告発した。

金地金等の密輸入事件は、前年同期比で件数、押収量とも減少したが、依然として密輸が敢行されており、厳格な取締りに取り組んでいる。

(参考) 金地金密輸入事件の摘発件数／押収量

平成 30 年 (1 月～10 月) : 218 件／約 320 k g

平成 29 年 (1 月～10 月) : 353 件／約 1,493 k g

平成 29 年 (1 月～12 月) : 391 件／約 1,782 k g

平成 28 年 (1 月～12 月) : 349 件／約 1,006 k g

平成 27 年 (1 月～12 月) : 207 件／約 820 k g